

ACTION

アクションポーズ

MOBILE ARMOR

モビルアーマー形態

AMX-003 GAZA C

AXIS MASS PRODUCTIVE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AMX-003
 TOTAL HEIGHT : 22.5m
 WEIGHT : 40.8t
 TOTAL WEIGHT : 72.5t
 GENERATOR OUT PUT : 1720kw
 MATERIAL : GUNDALUM ALLOY
 ARMAMENTS : KNUCKLE BUSTER
 BEAM GUN
 BEAM SABER
 (LEG CLAW)

AMX-003 ガザC

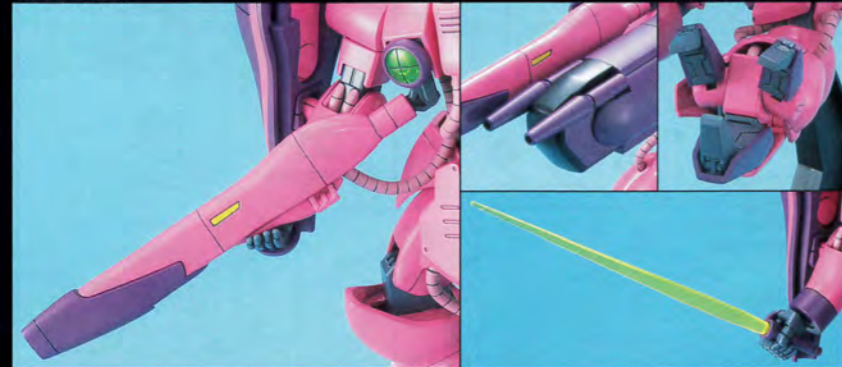
“ガザC”はアクシズが開発した可変MSである。一年戦争の終結に伴い、火星と木星の間の小惑星帯アステロイドベルトの宙域まで逃げ延びたジオン公国軍の残党は、探鉱および木星航路の中継基地であったアクシズを潜伏拠点とするため、居住設備を拡充する必要があった。その作業用の機体としてガザA、ガザBが開発され、小型のコロニーに匹敵する規模の球形居住施設“モウサ”の建設に投入された。当初の指導者であるマハラジャ・カーンは、アクシズでの永住も視野に入れていたが、マハラジャの死後、その方針は転換され、地球圏への帰還が決定した。それに前後して、作業用のガザシリーズを生産する設備を流用してガザCが開発、生産されることとなった。本来が作業用の機体である上、MAとしても運用できるように可変機構を採り入れたせいもあって運動性や機動性は決して優秀とは言えず、また、当時のアクシズには組織的にパイロットを養成する設備も機関も確立されておらず、パイロットの練度不足も問題であった。それらを補うべく、生産性が最優先され、砲撃戦を中心とする集団戦術が想定された。実際には、ナックル・バスターの搭載とジェネレーター強化が計られ、各ユニットは動力ケーブルによってリンクされている。アクシズにおける開発コードはMMT-1であり、AMX-003は地球連邦がアクシズ製の機動兵器の分類のために振り分けたものである。

DETAIL

各部ディテール

REAR VIEW

リアビュー



ナックル・バスター

右胸の前面に据えられたセンサーとリンクしており、パイロットの練度に関わらず有効な砲撃を加えることができる。また、密集隊形時には近接機と連携して連発砲として有機的な砲撃も可能。

ビーム・ガン

元々はサーベルと兼用可能なデバイスとして開発されたものだが、コストダウンのためにサーベルの生成機能を省略しつつ、単機能化することで性能を維持している。

脚部クロー

元々は背部ブロックがメインユニットで、脚部クローが土木作業用マニピュレーターであった。構造的に重力下での歩行は考えられておらず、敵機の捕獲や砲撃としての運用が想定されていた。

ビーム・サーベル

量産性を最優先開発されたデバイスだが、威力は標準レベルを維持している。

変形システム

各ユニットは動力ケーブルによって連結されており、モジュールの移動や変形に対応している。

CUSTOMIZE IMAGE

※写真は、発光ダイオードを組み込んだイメージ写真です。この商品に発光ダイオード及び電池、配線類は含まれておりません。

COLOR GUIDE

- 本体等：
ホワイト(50%)
+レッド(40%)
+イエロー(10%)
- シールド等：
蛍光ピンク(45%)
+パープル(25%)
+クリアレッド(20%)
+クリアブルー(10%)
- 関節等：
ニュートラルグレー(60%)
+ミディアムブルー(25%)
+ホワイト(10%)
+レッド(5%)
- 動力パイプ等：
ホワイト(75%)
+レッド(20%)
+イエロー(5%)
+ブラック(少量)
- ナックル・バスターの一部：
イエロー(60%)
+ホワイト(30%)
+オレンジ(10%)
- 胸部インテーク等：
ブラック(100%)

1/144 SCALE

HG
UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装してあります。

0139089



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動きます

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

Bパーツ (スチロール樹脂: PS)

Cパーツ (ABS樹脂: ABS)

Dパーツ (合成ゴム: TPE)

BA1パーツ (スチロール樹脂: PS)

SB6パーツ (スチロール樹脂: PS)

〈PC-123プラス〉 (ポリエチレン: PE)

〈PC-101〉 (ポリエチレン: PE)

●シール……………1
●マーキングシール…1

1

C21, B26, C7, C27, C22, A4, A6, C8, C19, C27, C20, C9, A16, B27

(先に貼るシール) (向きに注意)

2

(向きに注意) (向きに注意)

3

A26, A25, A3, C18, C26, PC0, C34, C25

(向きに注意) (向きに注意)

4

(向きに注意)

5

A21, A22, A10・A11, A30

3で作った頭部

6

A6, A7, A28, A29, A27, A20, B28

4, 5, 2, 3, 1, 1, 2, 3

7

C23, C24, PCM, D1, A20, B28

2, 1, 2, 3, 1, 2, 3

(後に組む)

8

90° (90°回す), 1, 2, 3, 2, 90° (90°回す), 4, 4

※1・2は奥まで差し込まないでください。

※奥までしっかり差し込んでください。

9

(反対側に貼るシール) (シール), B9・B10, A2, A1, D4

1, 2

8

※指で押さえながらはめ込みます。

10

PC E B17
B25 B24
B23 PC N
B22
PC H (向きに注意)
B16 C15
A18 C17

11

B17 PC E
B18 B19
PC N
PC H (向きに注意)
C16・C29
A17

12

A8 A9
PC N A23

19

C37 C36
C31 C38
PC G C32

20

B32 B30
B31 B29
B34
(シール) (シール)

21

B33 C35
B33 B34
B33 B34
B33 B34

20 で作った腰部
16 で作った右脚
18 で作った左脚

13

9 で作ったボディ
12 で作ったシールド
11 で作った左腕
10 で作った右腕
(両側に貼るシール)

14

A10(A15) C13
C6 C11(C12)
A13 C2(C3)

15

C10 PC I
B13 PC E
C14 B13
B14 B13
B15 B13

16

B7 B8
PC-101 B8
B11 PC A
PC I B12
D3 D2

17

C10 PC I
B3 PC E
C14 B3
B4 B3
B15 B3

18

B6 B6
PC-101 B6
PC A B1
B2 B1
PC I B1
D2 D3

19

A12 A10
C39 C40
C39 C39
C40 C39

22

13 21

23

BA10 BA10
BA10 BA10
BA10 BA10
BA10 BA10

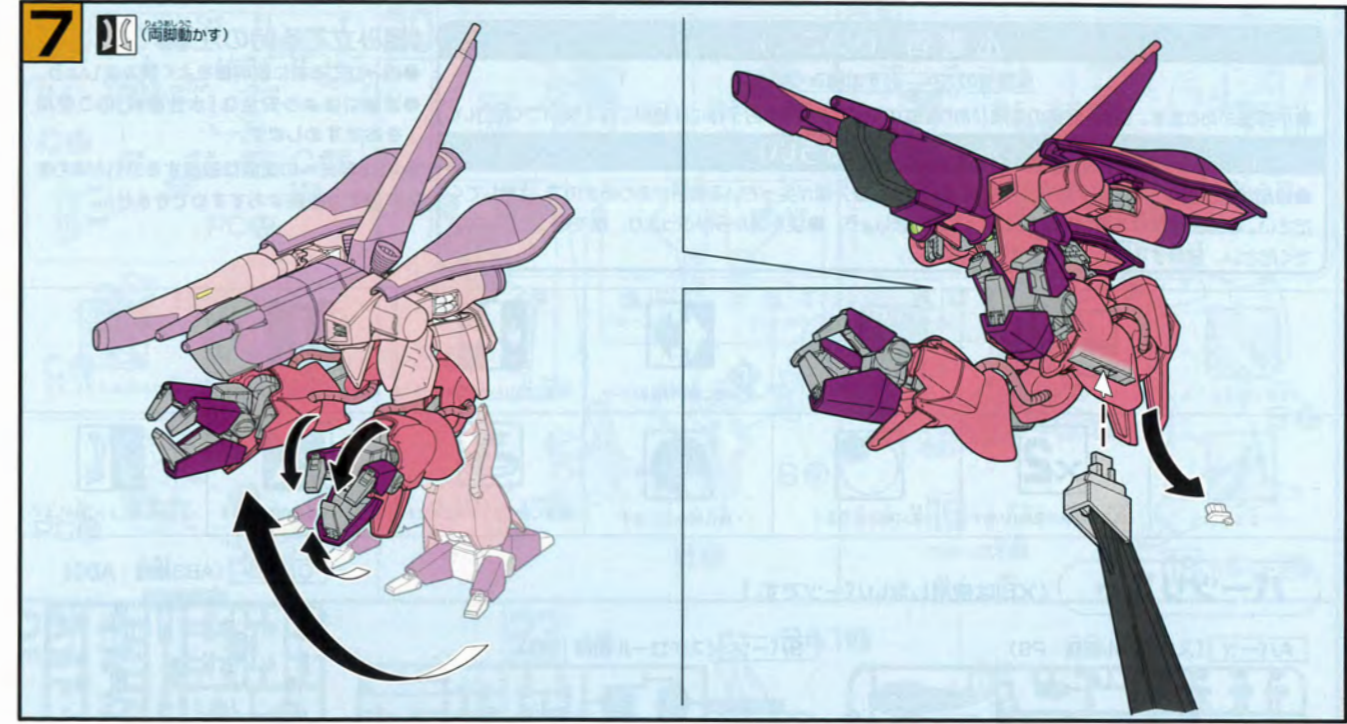
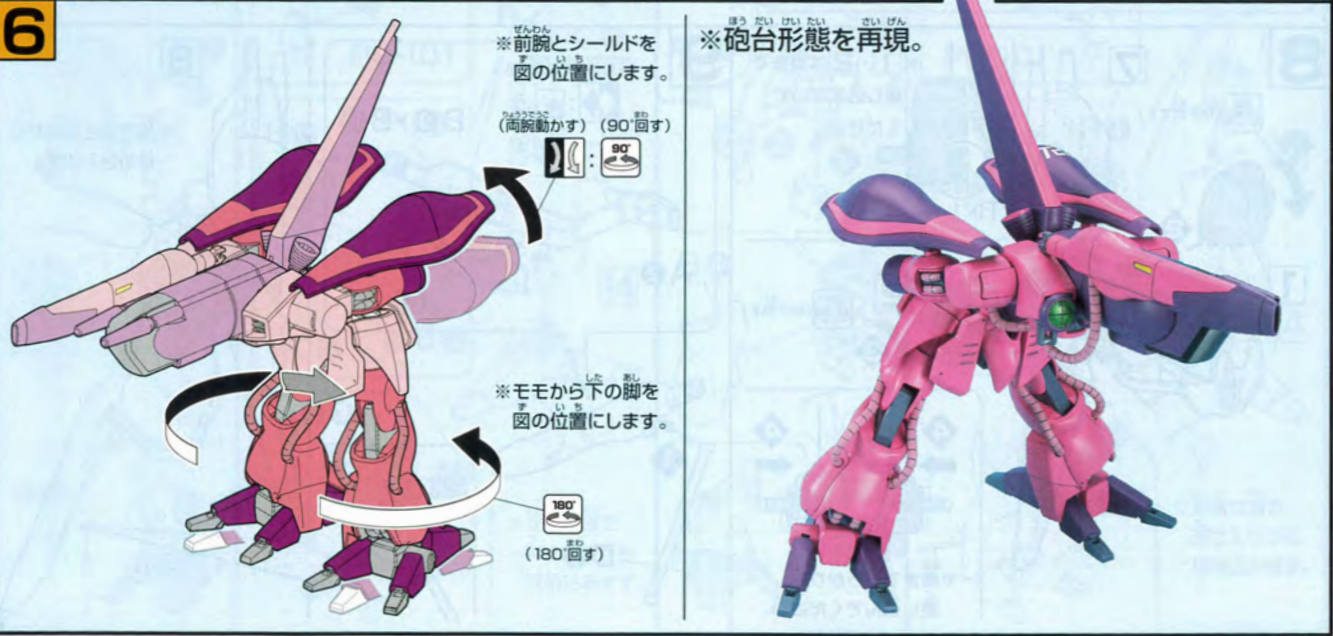
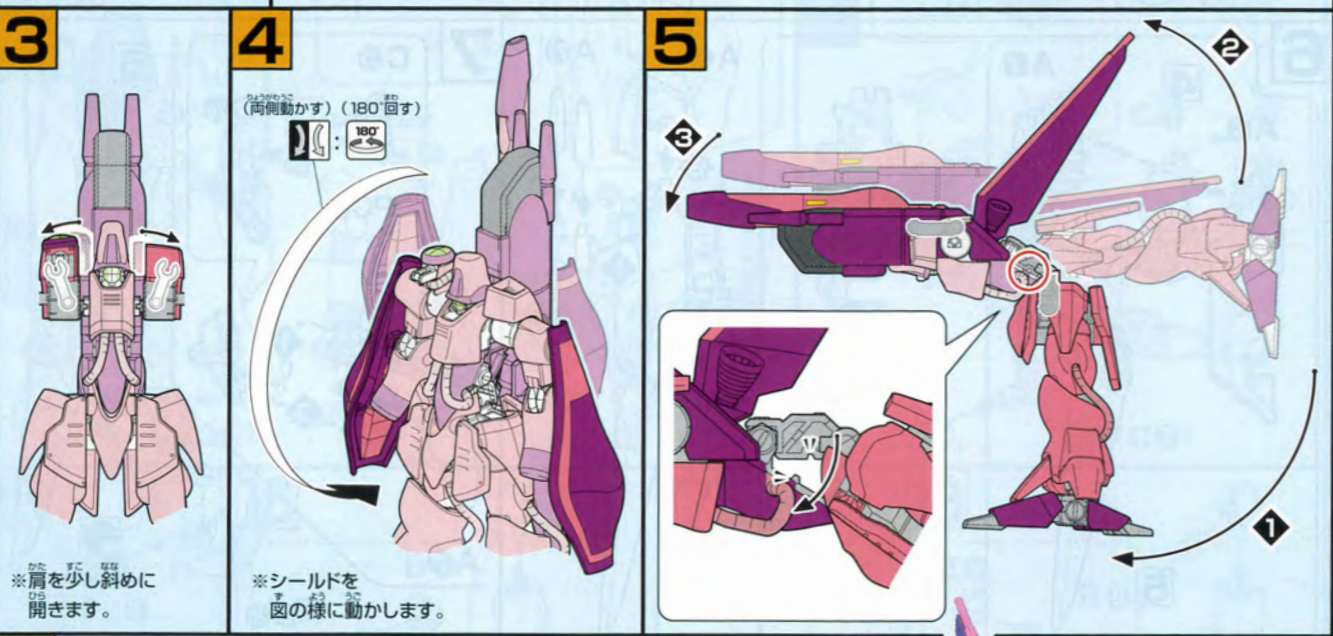
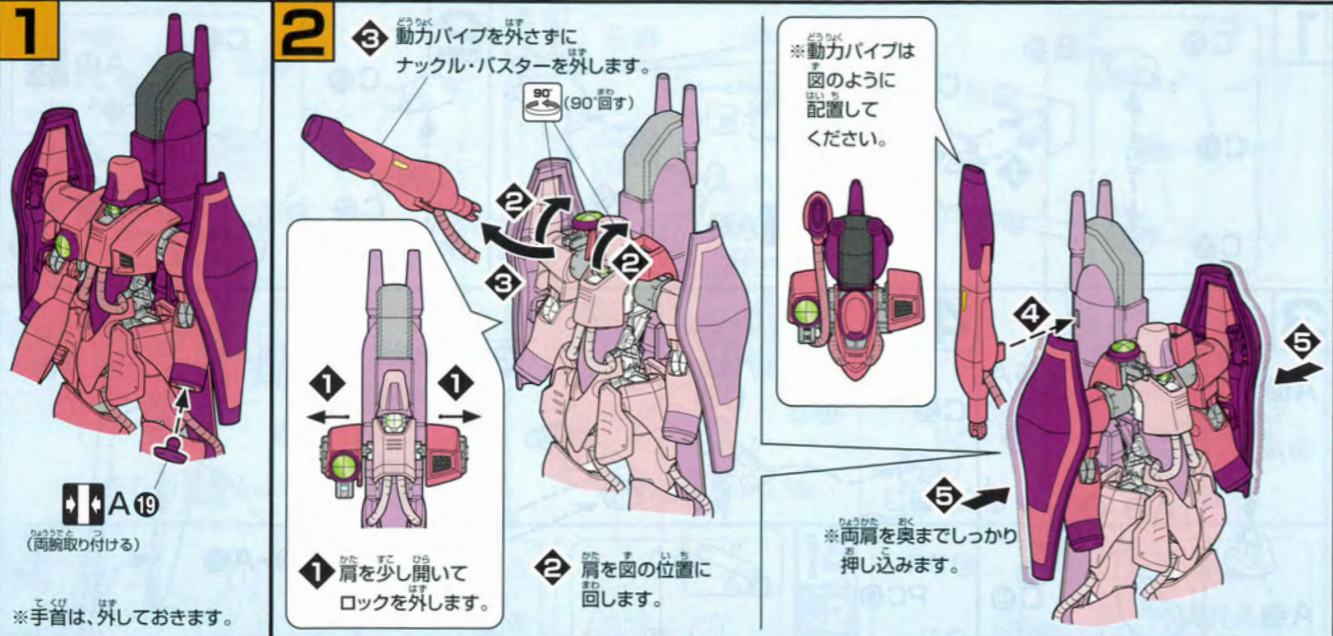
24

SB61 A12
A10 C28・C30

25

C39 C40
C39 C39
C40 C39





異彩を放つ特異な量産MS “ガゼC”

ガゼCの最大の特徴は生産性の高さにあり、機体そのものの機動性や運動性はほとんど顧みられていない。バックパック先端のビーム・ガンおよび近接戦闘用のビーム・サーベルに標準以上の威力はなく、機体の挙動に依存する近距離戦闘はほとんど考慮されていない。兵装として優れているのは「ナックル・バスター」と呼ばれるビーム砲のみと言っても過言ではなく、これは集団戦闘による一斉射撃などの戦術を用いることによって有効に機能する。また、艦艇に列をなして貼り付き、可動式のビームファランクス砲台としての運用法も想定されていた。小惑星アックスが属するアステロイドベルトは、火星と木星の間の広大な領域に拡がり、太陽からの距離は地球に比べ二倍から四倍もある。太陽光も充分には届かず、食糧の生産能力やIG環境を生み出せる施設などは極端に少なく、逃亡当初の数百年間は極端な窮乏生活を強いられていた。ガゼCシリーズは、居住施設である「モウサ」の建設作業に投入するため作業用に開発された機体であり、生産性が最優先された。かくしてガゼA、Bの開発には、数千機のザクを量産した公団軍の量産技術が存分に投入された。コストを下げるために汎用性の高い部材を各所に流用し、工程を減らすため機体構造は高度に単純化され、建設作業に不要な機能は徹底的に排除された。ガゼCは、それに武装を施した改装機であり、可変機構にしても、MSとして“人型”の体裁を整えるための窮余の策だったという説もある。それでも、限定された戦況においては要求性能を完全に満たしていた。また、その生産目的は初めての戦闘においてほぼ達成されていた。すなわち、地球圏離脱時までに必要な頭数を揃え、アックスの戦力がエゥーゴとティターンズの戦力比に影響するものである事を双方に認識させることである。事実、エゥーゴとティターンズは先を争ってアックスとの共闘を申し出てきた。これはある意味で、かつて「戦いは数である」と公言していたドズルの持論を体現した戦略であったと言えるだろう。

コンセプトデザイン：カトキハジメ